

【令和元年度】検討会の目標・成果について

水道界への発信

「南海トラフ巨大地震対策アクションプラン～大都市水道事業者からの提言～」（仮称）を第3回検討会（令和2年1月実施）で全国に発信
検討会で決定した南海トラフ巨大地震の給水車の大量不足や迅速な救援体制の構築などの喫緊の課題への具体的対策をとりまとめ、水道界に
提言・発信する

手引き等改定への反映を提案

検討結果から日水協及び大都市の救援活動の基本的な考え方や方法等の変更が必要な事項については、日水協「地震等緊急時対応の手引き」
及び「19 大都市水道局災害相互応援に関する覚書」等の改訂への反映を提案

大都市が協力した対策の実行

※対策事案のうち大都市が協力してできる対策を選定し実行（下記は現段階での候補案件を例示）

〔取組Ⅰ〕南海トラフ巨大地震に対する具体的対策の実行

1 給水車大量不足への対策

対策事例：民間所有大型給水車等の災害時活用の全国展開

〔内容〕道路清掃車両、飲料水・酒類運搬用車両などの給水車に転用可能な大型車両は、全国の民間会社で多くの車両が保有
されており、これらの車両の災害時活用を全国で具現化する取組

2 迅速な救援体制の構築

対策事例：南海トラフ巨大地震発生時の受援モデル作成

〔内容〕被災が想定される各地方支部に対して救援を担当する地方支部、都府県支部及び救援体制の差配を行う事業者を
あらかじめ決め、平素から情報交換や合同訓練を行うことで、発災時に全国規模の救援体制を迅速かつ円滑に構築

〔取組Ⅱ〕災害対策に係る国内貢献策の実行

候補事案：大都市水道局の災害派遣活動経験者による全国の水道事業者向けの研修の仕組みを新設

〔内容〕過去の大規模災害における災害派遣活動経験者を対象とした講師派遣推薦者リストの作成、広域的大規模災害に
おいて重要性が高まる幹事応援水道事業者などの調整業務にかかる研修会の開催